

高島平地域での買い物困難者支援策の現状と分析について

板橋区では平成 27 年 10 年に、高島平地域まちづくりにおける、めざす将来像の構想を、高島平地域ランドデザイン（以下「ランドデザイン」という）として策定し、実現に向け推進している。この、ランドデザイン策定に際する住民説明会やアンケート調査などから「買い物困難者」の存在が大きな地域課題のひとつであることが明らかとなった。

これを受け区は買い物困難者への対応として、平成 28 年度に事業者へ高島平地域での「移動スーパー」の導入を依頼し、買い物環境の改善を図った。

アーバンデザインセンター高島平（以下、「UDCTak」という）が、これらの動きを踏まえ高島平地域まちづくりにおける課題の抽出と解決策の提案のために、現状の分析に取り組む「買い物支援プロジェクト」について報告する。

1 プロジェクトの主な実施項目

(1) UDCTak では、次のとおり「買い物支援プロジェクト」を実施した。

年 度	取 り 組 み
平成 28 年度	・ (区と事業者による“とくし丸”の運行開始)
平成 29 年度	① 高島平地域などでのとくし丸の利用実態データ収集、分析 ・ (大学の講義や学会での本プロジェクトの内容紹介、報告)
平成 30 年度	② 日常の暮らしや移動に関するアンケート調査「高島平地域のライフスタイル調査」の実施 ・ (地域イベントや学会での、本プロジェクト内容の紹介、報告) ③ 高島平グリーンテラスでの、住民への聞き取り調査の実施 ・ (株式会社ミツバとの共同研究(パーソナルモビリティ試乗会など)開始)
平成 31 年度	③ とくし丸利用実態データの分析(継続)、区や事業者へのヒアリング ④ ワークショップ(グループインタビュー)による地域での買い物環境についての課題や、施策のあり方について議論

(2) このプロジェクトは、次に挙げる事項の調査、意見収集などを行っている。

調査・収集の実施項目	内容
① 移動スーパー「とくし丸」 利用実態調査	ア 移動販売が、地域住民の買い物支援となっているか 捕捉する。
	イ どのように、地域住民の買い物を援助できているか 捕捉する。
② 高島平の ライフスタイル調査	ア 買い物のしやすさと、不便や困難がある場合はその 要因を確認する。 イ 地域で既に利用されている買い物補助的な施策が、 人々の買い物を支えているか確認する。
③ 買い物に伴う危険や苦勞の 聞き取り調査	ア 買い物環境やその課題に関して、詳細に意見を把握 する。
④ 買い物環境の課題や施策の ワークショップ	ア 商店が少ない四、五丁目の買い物環境について課題 や、対策に関する意見及び考えを収集する。 イ 想定する施策を導入した場合の意見を収集する。

2 調査結果

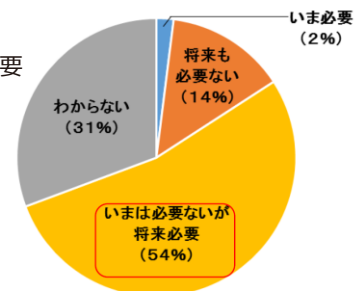
利用実態調査やライフスタイル調査、聞き取り調査及びワークショップの実施をと
おし、次のとおりの結果を得た。

・利用実態調査より・



図2 移動スーパーに対する需要

- (1) 移動販売の利用者はまだ少ないものの、
将来的な需要は高い。(利用実態調査より)
- (2) 店舗までの移動が困難な場所において
移動販売の利用が多い。(利用実態調査より)



・ライフスタイル調査、聞き取り調査より・

各方法の利用状況と買い物の不自由

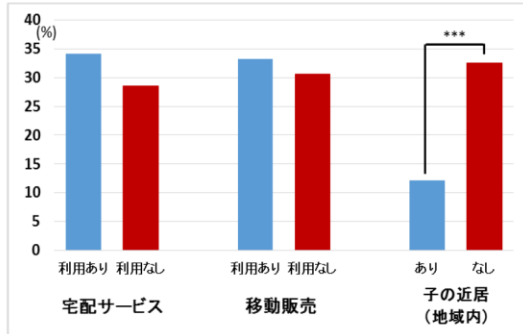


図3 各方法の利用有無別の買い物の不自由を感じる割合

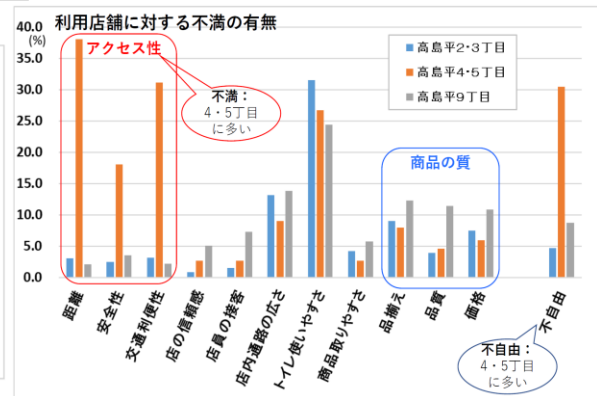


図4 良く利用する店舗に対して持つ「不満」の要素

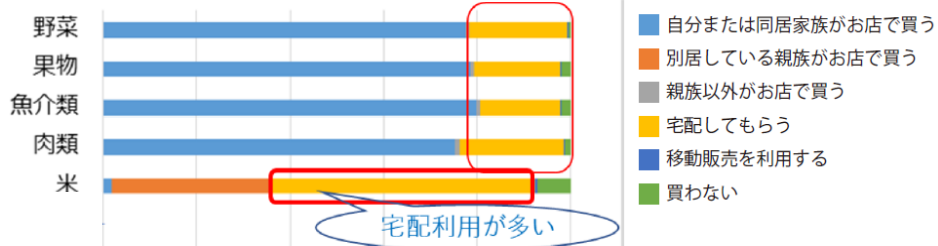


図5 各食品別の購入方法と、うち、宅配を利用すると回答した人

- (3) 高齢化が進み、買い物に苦労や不自由を感じる人が増加している。
(ライフスタイル調査、聞き取り調査より)
- (4) 店舗までの距離がある地域での不自由を感じる人の割合が、他地区より高い。
(ライフスタイル調査、聞き取り調査より)
- (5) 子世帯が近居している場合、買い物で不自由を感じる人の割合が低い。
(ライフスタイル調査より)
- (6) 米など重量のある食品購入に宅配サービスが利用されている。
(ライフスタイル調査より)

・聞き取り調査、ワークショップより・



図6 買い物に苦労や大変さ、危険を感じる箇所

(7) 四、五丁目の戸建地区の住民は店舗までの遠さに苦勞がある。

(聞き取り調査、ワークショップより)

(8) 徒歩利用者は他の自転車を、自転車利用者は自動車を危険に感じている。(聞き取り調査より)

(9) 団地内の上下移動や歩道橋など、地域構造に特有の障害となる要素がある。(聞き取り調査より)



参考画像 とくし丸による移動販売

3 買い物支援の施策案

調査結果より、既存の買い物場所に行きやすくする「交通」の視点と、買い物を身近で行いやすくする「店舗アクセス」の2つの視点から、次の施策案が考えられる。

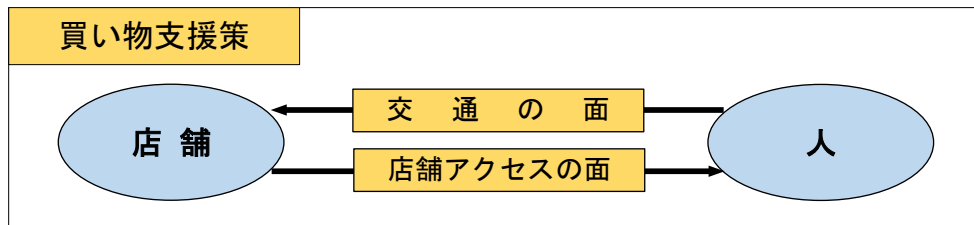


図7 施策案のイメージ

・買い物支援の施策案・

- ▶ 既存の買い物場所に行きやすくする〈店舗へ行く・交通面〉
 - (1) 高島平駅前の駐車空間確保
 - (2) 地域の道路環境改善
 - (3) 新たなモビリティ導入
- ▶ 買い物を身近で行いやすくする〈店舗が来る・店舗アクセス面〉
 - (4) 停留所型の移動販売
 - (5) 地元の住民や店舗と連携した施設等の運営
 - (6) 地元店舗の連携を視野に入れた商品提供システムの構築
- これらの施策案を取入れる際、地域・地区ごとの住民構成や、買い物環境の違いを踏まえ、適したものを考慮する必要がある。

4 まとめ

UDCTak のプロジェクトでは、6つの項目が高島平地域における「買い物支援」として有効と考えられる。

この研究成果を、区は、今後の高島平地域でのまちづくりにおける「買い物困難者」解消に向けた施策の検討に際して活用していく考えである。